

「活用する力」の育成を意識したICT活用例

研修パッケージ(令和3年11月15日付第202100202666号 小中学校課通知)では、令和3年度全国学力・学習状況調査をもとに、「活用する力」の育成についてお伝えしました。本号では、「活用する力」の育成を意識したICT活用の実践例を紹介します。

ICTを活用したとっとり授業改革推進事業校大山町立名和小学校 5学年・国語「和の文化を受けつぐ—和菓子さをぐる」(東京書籍「新しい国語五」)の実践より

【指導事項】

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
(読むことC(1)ーウ)



実際に資料を選ぶ過程で、選択した結果を即時に共有し、考えを交流するためにICTを活用します。

《1時間の流れ》

- ①本時の課題を共有し、教材文を読む。
- ②筆者がどのように説明しているのかを読み取る。
- ③資料の効果について考える。



グラフがあると、量や数値がよくわかり、筆者が伝えたいことが理解しやすくなるな。



写真があることで、文章中に知らない道具や作業について書かれていても、想像しやすくなるな。



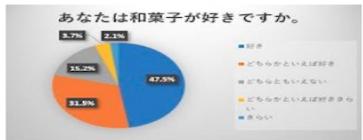
自分の伝えたいことの根拠になったり、より強調することができたりするような資料選びが大切なのですね。

④活用課題に取り組む。

活用課題

Forms

「食べる人」の部分に資料を入れるとすると、どれを入れますか。



選択肢 1



選択肢 2



選択肢 3



選択肢 4

選んだ理由を書きましょう。*

回答を入力

和菓子は、食べる人にも支えられていることを印象付けるために、和菓子を食べている写真を用いるとよいと思ったので、選択肢2を選びました。



それでは筆者になったつもりで、実際に資料を選んでみましょう。Googleフォームを使って、4つの資料のどれを使うのが最も効果的かを検証しましょう。

考えを即時集計・共有



考えが分かれたな。選んだ理由を聞いてみたいな。

食べる人が増えてほしいから、和菓子が好きな人の数値をグラフで示したらよいと思い、選択肢1を選びました。

